

議会だより



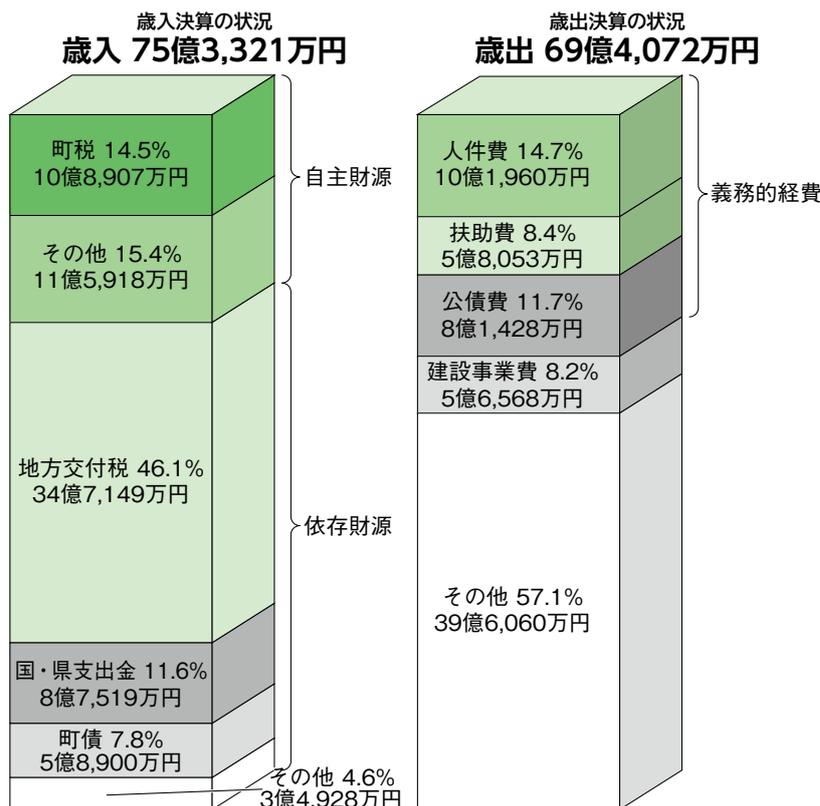
地方創生事業 実績 主な事業..... 3
決算審査報告書..... 8
一般質問 町の未来像を議論..... 9
新しい町づくりへ 私の提案..... 23

福井団地夏祭りのひとコマ
仲良しの2人組がかわいかったです
関連記事24p

発行／長野県飯綱町議会 編集／議会報編集調査特別委員会 発行責任者／清水 満
〒389-1293 長野県上水内郡飯綱町牟礼2795-1 TEL026-253-2511

令和元年9月30日現在 人口11,056人(99.8%)／男5,438人(99.6%)・女5,618人(100.1%)
世帯4,210(100.1%) ※うち外国人世帯31(100.7%) ()内は前年比率

平成30年度一般・特別会計決算を認定 町税は減少 地方交付税は増加



● 9月定例会は2日から20日までの19日間の日程で開催された。

● 30年度一般・特別会計の決算、令和元年度補正予算など町からの提出議案は、報告3件、条例9件、決算の認定が12件、補正予算3件、企業会計2件、人事に関する諮問2件の31件すべて原案どおり認定、可決した。

● 請願1件継続審査、陳情3件の内2件不採択、1件継続審査とした。

※提出議案の数字を使用しているため「いづな通信」とは合致しない

<用語解説>

自主財源＝自治体が自主的に収入する財源で、この財源の多寡が、行政活動の自主性と安定性を確保しているかどうかの尺度となります。

依存財源＝国、県などにより定められた額が交付されたり、割り当てられたりする財源です。

義務的経費＝人件費、扶助費、公債費。

特別会計決算 平成30(2018)年度決算総括表 (単位:千円)

会計	区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
からまつの丘地区汚水処理場管理事業		1,729	1,613	116
訪問介護ステーション		50,073	40,887	9,186
国民健康保険事業		1,382,566	1,301,035	81,531
後期高齢者医療		154,959	154,349	610
介護保険事業		1,198,379	1,186,183	12,196
農業集落排水事業		355,078	353,735	1,343
飯綱公共下水道事業		305,508	285,104	20,404
スキー場事業		49,909	49,909	0
住宅地造成事業		19,602	4,558	15,044
特別会計合計		3,517,803	3,377,373	140,430

賛成討論ー伊藤まゆみ
農業者への支援、拡充された子育て支援、総合検診の対象拡大、基準通りの病院への繰り出しは評価。職員研修の充実に努力を。

平成30年度飯綱町一般会計
歳入歳出決算の認定について

平成30年度一般会計決算 地方創生事業 実績 主な事業

1 しごとの創業・交流拠点整備事業・・・1億1,131万円

(国庫支出金：5,407万円、一般財源：5,724万円)

旧三水第二小学校跡施設を「しごとの創業・交流拠点施設」として整備

<主な内容>

- ① しごとの創業・交流拠点整備委託事業
 - ・跡施設活用に向けた具体的な環境整備と事業運営モデル構築支援
 - ・「(仮称)まちづくり会社」の設立準備会の議事運営、構想策定、情報・資料の策定等
- ② 跡施設改修実施設計管理業務
- ③ 職員室他改修工事
- ④ 1・2階の部材解体及び改修工事



▲旧三水第二小

2 自然の中の暮らし魅力創造発信事業・・・9,737万円

(国庫支出金：4,622万円、一般財源：5,115万円)

旧牟礼西小学校跡地拠点施設整備業務

<主な内容>

- ① 地域活性化の拠点となる跡地活用の具体的方向性・方針等の策定業務
- ② 拠点施設における基本設計業務（4つの事業「コミュニティ・業務・宿泊・スポーツ健康」基本設計）
- ③ グラウンド整備計画に伴う学校敷地及び周辺の測量業務
- ④ 飯綱東高原エリア拠点施設整備設計業務及び建設工事（休憩所）
- ⑤ 地域住民と大学の共同プロジェクト（学生が参加することにより地域活性化をはかる）



▲旧牟礼西小学校

3 世界に誇る力強い産業形成事業・・・6,507万円

(国庫支出金：2,795万円、一般財源：3,712万円)

信州・県立長野各大学とりんごの機能性に係る研究で加工品への付加価値を高める実験を実施

<主な内容>

- ① 気象・地形の特質を活かした先端農業技術の研究（信州大学）
- ② 農業塾の運営業務：移住や新規就農を希望している方を対象に農業塾信州飯綱りんご学校を実施
- ③ 新たな特産品として四季菜苺栽培実験を実施（信州大学）

決算を徹底チェック

町のお金は適正・効果的に使われたか

福祉センター廃止後の機能はどうなる

質問 福祉センター廃止による機能分散を、どう考えているか。

答弁 町の施設では、町民会館、多世代交流施設、旧小学校など紹介していく。

ふるさと納税の落ち込みの理由は

質問 ふるさと納税で、寄付額が落ち込んだ理由は。

答弁 インターネット上で案内するサイトが少なかった。サイトを増やしたことで前年比63%まで回復した。

職員研修費の執行率が低いのは

質問 職員研修費の執行率は、今年度も低い。重点課題と位置付けてあったが。

答弁 研修回数は、29年31件、30年34件と増え、参加人数も29年154人、30年196人となった。

コンプライアンス研修は、県職員を招いて行った。1泊2日の研修は、希望ではなく命令形式で研修させるよう変えている。

ZQ(ズク)の業務内容は

質問 「ZQ(ズク)」で実施する業務の内容は。

答弁 空き店舗の活用と小学校跡地活用の試験的実施を目的としている。

地方創生事業の今後は

質問 地方創生事業の今後の動向は。

答弁 国では、地方版総合戦略は、今年度見直していく見込み。

町の推進交付金事業は全体で20億円ほど。本年度で4分の3が完了見込みで、令和2年以降約5億円の事業費が予定されている。

地方創生事業の十分な検証を

質問 交付金を使っているのは悪いことではないが、十分検証して進める必要があるが。

答弁 過疎地でも特別豪雪地帯でもない中で、町の支援を受けられるのは地方創生事業だった。計画に基づいて事業を進めてきたが、終結を迎えようとしている。一つの区切りの中で整理をして取り組んでいきたい。

買い物弱者対策は

質問 信濃町では、買い物弱者対策として、民間業者が移動販売を行っており、好評と聞くが。

答弁 住み慣れた地域で安心して住み続けられる町を目標に、買い物支援も一つの項目として挙げられている。建設中の多世代交流施設の活用とともに社協などと検討していきたい。

運転免許返納者への支援内容は

質問 運転免許証自主返納者支援で、新規申請25件、継続者18件の内容は。

答弁 申請者に対し1万円相当を最長5年間支援するもので、「アイバス回数券」「長電バスICカード」しなの鉄道 牟礼〜長野間 普通回数券のうち、希望する2つまでを選択していただくもの。



▲誰もが参加でき親しまれている「街中サロンらくらく」(ZQにて)

夏秋四季成りいちご 今後の方向性は

質問 実証実験中のいちごについて、早めに方向性を見出していくべきではないか。

答弁 冬期間の日射量が予想以上にあり、冷涼な気候が適していることから、イチゴ栽培の適地であることが分かった。この1年で費用や収量のデータが取れた。

第2ステップは、希望者に技術を提供する場を与える。第3ステップは、民間に広げていくという方向で考えており、現在は第2ステップへ進もうという段階。

可燃ごみ収集量を 広報紙に掲載は

質問 可燃ごみ収集量の情報を、無線放送で提供しているが、毎月の広報紙にも掲載することはできないか。

答弁 可能だと思う。

男女共同参画に 男性の参加を

質問 男女共同参画フォーラムを実施しても、参加者は女性が多い。男性を巻き込む方策は、どう考えているか。

答弁 社会教育委員、人権教育推進委員等呼び掛けている。

男女共同参画委員には、区長会からも推薦を受けている。委員は11名うち女性9名、男性2名。

海洋クラブの カヌー体験PRを

質問 海洋クラブの体験会（カヌー）は町民でなくとも参加できるのか。政策サポーターから町を知る入口になるのでPRできないかとの意見があった。

答弁 町民以外にも参加でき、他町村から体験参加の申込みがある。一般試乗会も実施している。PRについては、検討し

たい。



▲心はずませて準備体操。トムソーヤフェスティバルでのカヌー体験

保育士確保の具体策は

質問 質の高い保育を提供していくためには正規保育士の確保が必要だが。

答弁 飯綱町だけでなく、保育士の確保は厳しい状況にある。町の保育の魅力、保育士を目指している学生たちに広げていきたい。

一般保育士の他に、社会人枠の採用試験も実施した。



▲天気に恵まれ楽しんだなかよし運動会

特別会計

差額800万円の分析は

質問 農業所得の落込みで実際には大幅な伸びにはならなかったが、県の運営に変わった初年度とすることで、保険料を引上げた。歳入歳出の差額が8000万円を超えたことこの分析は。

答弁 調定額では、510万円ほど下回ったが、県への納付金が想定より少なかった。

介護保険の基金の 考え方は

質問 基金が2億5600万円を超えているが、被保険者に過度な負担を強いた積み重ねと考えるが。

答弁 一定の基金ができた。これを基に第8期に向けての保険料を検討したい。

子どもからお年寄りまで集える場 産業振興と健康増進にも寄与

多世代交流施設条例

—可決

主な制定内容

産業の振興と健康増進及び住民コミュニティの向上に資するため。

飯綱町りんごパーク条例の一部を改正する条例

—可決

りんごパーク、ロングハウス使用料に日帰り使用料を加える。



▲りんごパークセンター

30年度特別会計決算9件を認定

平成30年度飯綱町からまつの丘地区汚水処理場管理事業特別会計 歳入歳出決算 —認定

質問 平成30年度末で218万円を基金積立てしているが、将来、何かに使うのか。

答弁 供用開始から21年経過しており、処理施設内の機器更新の時期を迎えているので、機器器具、管路施設の費用に充当する。

平成30年度飯綱町スキー場事業特別会計歳入歳出決算 —認定

飯綱町スキー場事業特別会計歳入歳出決算の認定に賛成討論 —渡邊 千賀雄
長年の課題・懸案であ

った行政からのスキー場の完全分離・民営化の実行。そのための必要経費といえる内容と考える。

平成30年度飯綱町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算 —認定

反対討論 —伊藤 まゆみ
運営が県になった初年度で、保険料引き上げと予算に反対した。歳入歳出差額が8500万円超であり、保険料は上げるべきではなかった。

平成30年度飯綱町介護保険事業特別会計歳入歳出決算 —認定

反対討論 —伊藤 まゆみ
3年ごとの見直しのために改悪され、利用しに

くい制度となった。基金総額2億5600万円余は、被保険者に負担を強いた結果である。

平成30年度飯綱町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算 —認定

質問 広域連合に※フレイル対策事業があるが、飯綱町は申請しているか。

答弁 現在の保健師人員では対応できない。今後検討する。

30年度企業会計2件認定

平成30年度飯綱町病院事業会計決算 —認定

質問 病院の今後の方針として、医療と介護はどのような方向に進むと考えるか。

答弁 病院事業検討委員会で検討していく必要がある。今後の大きな課題。

平成30年度飯綱町水道事業会計決算 —認定

討する。

反対討論 —伊藤 まゆみ
制度開始から2年ごとの見直しのたびに、保険料が上がっている。激変緩和の解消が始まったが、町独自の対応がなかった。

※フレイル：健康障害をおこしやすくなった状態

質問 牟礼、三水道会計への一般会計からの繰入金総額は。

答弁 6406万円である。

質問 収入の多くを一般会計からの繰入金に頼っているが、料金改定の予定は。

答弁 営業損失となっている現状では、料金の改定が必要。令和2年度に改定

検討する。

補正予算

令和元年度一般会計補正
予算(第2号) ー可決

主な補正内容

- 総務費 庁舎建設基金 1億5000万円
- 財政調整基金(計画的財政運営のための積立) 5000万円
- 車両管理費(マイクロス)購入 1050万円
- 可燃ごみ収集費 199万円
- 三本松農産物直売所駐車場整備 2922万7000円

人事案件

人権擁護委員の推薦に同意
丸山 正和 氏
久遠 春美 氏

補正予算

陳情2件不採択

辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外、国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書 ー不採択

- 1 辺野古新基地建設を直ちに中止し、普天間基地を運用停止にすること。
- 2 米軍基地が必要か否か。普天間基地の代替施設が国内に必要なか否か国民的議論を行うこと。
- 3 普天間基地の代替施設が必要との結論になったら、沖縄以外の全ての自



▲農業者の期待を受け、工事が始まった三本松直売所

陳情

治体を候補地として議論を経て、解決することを求めている。

本会議での討論

賛成討論ー大川 憲明
沖繩での基地建設は、全て反対である。米軍の基地建設は、日米地位協定を考えると、全国民で考えるべきだ。

6月定例会継続審査のため、7月17日閉会中審査。

委員会の審査

反対討論

辺野古・普天間の両基地停止の国民的議論を求めているが、すでに20数年かけて議論をつくしている。代替案を提示しない限り、日本の安全は守られないと考える。

反対討論

外交防衛上の問題として普天間基地を含め停止することは非現実的である。防衛問題について地方自治体が判断することは複雑である。

米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情 ー不採択

米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する反対討論 ー渡邊 千賀雄

沖繩県民投票が行われ、埋立て反対の明確な民意が示された以上、政府は地方自治と民主主義を尊重し、工事を中止するとともに、協議を行うべきだ。

第4回臨時会
10月9日開催

公の施設の指定管理者の指定 ー可決

主な管理施設の名称
むれ温泉天狗の館、東高原観光施設、いこいの森、山村広場
指定管理者
ファースト・パシフィック・キャピタル有会社

指定期間
令和2年4月1日から令和12年3月31日



▲指定管理期間が10年になった天狗の館

令和元年度一般会計補正
予算(第3号) ー可決

補正内容
飯綱東高原観光施設指定管理料(債務負担行為10年間) 1億800万円

臨時会

30年度一般会計・特別会計企業会計 決算審査報告書(抜粋)

代表監査委員 山本孝利 監査委員 渡邊千賀雄

審査に付された各会計の決算書、調書等は、法令に準拠して作成され、決算計数は適正であると認定。現金、預金及び各基金の残高や運用状況を示す書類の計数は、誤りがないことを確認。

特別会計・企業会計とも、すべて黒字決算となり、飯綱町全体としても好決算。

一般会計では、実質収支額が5億9200万円の黒字、財政調整基金に3億円を積み立て、財政基盤の強化に役立てられた。

スキー場が、民間業者へ売却され、長年の懸案が解消し、30年度をもって、スキー場特別会計は廃止した。飯綱病院は、経費等の削減により黒字決算となり、賞賛に値する。院長はじめ関係者のご努力に感謝する。水道事業では、給水人口の減少という向かい風が吹

く厳しい条件の中で、未だに一般会計の補助金に依存する体質から、脱却はしていないが、収支は安定してきており、期間損益は心配ないようになってきている。

主な指導事項

- ◎心の病や病気などで職員の長期休暇、病欠が散見される。管理者への職員のメンタル面やストレス対応の研修が必要。
- ◎町の主力産業の農業の所得向上はもとより、企業誘致や観光振興に力を入れること。
- ◎保育士の採用に、万全を。
- ◎検診事業・予防接種は、健康寿命を延ばし、住みよい郷土を築くために重要。
- ◎水道事業は、設備の老朽化が進展する中で、補修費用の増大は避けられない。

9月定例会 議案に対する各議員の賛否結果 (○賛成 ●反対)

議案名	表決結果	清水均	風間行男	中島和子	目須田修	瀧野良枝	原田幸長	石川信雄	荒川詔夫	伊藤まゆみ	青山弘	樋口功	渡邊千賀雄	原田重美	大川恵明	清水満
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町多世代交流施設条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町印鑑条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町飯綱東高原観光施設条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町飯綱東高原保健休養地及び関連観光施設管理棟条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
むれ温泉天狗の館条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町いこいの森・山村広場条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町りんごパーク条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町給水条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町からまつの丘地区汚水処理場管理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町訪問看護ステーション特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
飯綱町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
飯綱町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
飯綱町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町飯綱公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町スキー場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町住宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町病院事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度飯綱町一般会計補正予算(第2号)	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度飯綱町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度飯綱町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情	不採択	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○
辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情	不採択	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○
米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情	不採択	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○
飯綱町議会会議規則の一部を改正する規則	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

町の未来像を議論 町政全般を質す

風間 行男議員

- 1 飯綱東高原 別荘地の今後をどう考えるか
- 2 天狗の館の修繕費負担の見直しを
- 3 日向野球場出発のウォーキングコースを

原田 幸長議員

- 1 骨髄バンク ドナー登録者数を増やす努力を
- 2 骨髄移植後のワクチン再接種への助成は
- 3 風疹対策の強化を

石川 信雄議員

- 1 ICT教育等の現状は
- 2 「生きる力」を育てる具体的な取組は
- 3 北部高校との連携推進を

目須田 修議員

- 1 町はどうしても黒川に住宅を新築したいのか
- 2 新築の前に空き家対策が先では
- 3 ソーラーパネルをどう捉えているか

渡邊 千賀雄議員

- 1 牟礼駅前整備に伴う今後の課題への対応は
- 2 役場庁舎 公共施設の弱者対策をしっかりと

清水 均議員

- 1 子どもの貧困対策をどう進める
- 2 いじめ、ひきこもりなどによる不登校の実態とその対策は
- 3 30年度決算を問う
- 4 その他

瀧野 良枝議員

- 1 産前産後ケア 地域力の活用を
- 2 子育てと仕事の両立 町職員から
- 3 児童虐待 予防教育を
- 4 環境意識向上 子ども世代から
- 5 スポーツを核とした観光まちづくりを

伊藤 まゆみ議員

- 1 水道事業の後は
- 2 後期高齢者医療保険料 町独自の助成を

- 一般質問は、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるものです。
- 一般質問の詳細については、ホームページ、議事録でご覧になれます。
- 一般質問の原稿は各議員が責任をもって編集しています。

一般質問

縁あって飯綱町で20数年生活していながらなかなか議会傍聴というチャンスはなかったのですが、今年いろいろな大学で学ぶという機会を得て、初めて経験しました。

質問の内容、答弁、活発な発言がありました。今の町の抱える問題。まさに日本全国少子高齢化に伴う内容で、ひしひしと現状を感じました。

しかし、議会と行政が、一つ一つ真摯に解決しようとしている姿に安心しました。町民が幸せで、安心して暮らしていける町こそ、誇れる町です。誰にでも「飯綱町に住ん

傍聴席



畔上 芳美さん
(福井団地)

町民が幸せで安心して暮らせる町こそ



「でいるよ」と言える町を、町民全員で協力して、目指したいと思いました。

今日は大学の皆さんが傍聴席で、席はいっぱいでしたが、いつもはどうかのでしょうか？町のことを行政と議会に任せきりにしないで、町民がもっと積極的に町を知らなければ、良くならないと思います。これからも関心をもって生活しようと思いました。



風間 行男議員

飯綱東高原

別荘地の今後どう考えるか

町長 活性化になる環境整備をしたい



▲あじさい植栽20,000本をめざすボランティアのみなさん

風間 別荘内草刈り業務に係る委託料の算定基準は。産業観光課長 年2回実施している。1回62800㎡。除草単価㎡当り60円。**風間** 飯綱東高原観光施設等の委託料を1080万円に引き上げる根拠は。**産業観光課長** 委託先の人件費値上がり分。その他の物品費、消費税2%増で算出。

町長 別荘所有者、土地所有者からの別荘管理委託料の見直しは。**町長** 土地のみの方は7000円。建物のある方は2万2000円。毎年オーナーと町の懇談会を4月に行っている。安くしろとの意見はないが、サービス向上の意見がある。**風間** 別荘地の今後をどう考えるか。**町長** 「つつじが原」「しらかば」などをいかに利用して町の活性化につなげるかがキーワード。別荘地としての環境整備をしたい。

天狗の館の修繕費負担の見直しを

風間 目的税である入湯税の充当状況は。**町長** 天狗の館のみで1100万円。観光施設の更新、観光施設整備に充当。**風間** 今後10年間の入湯税の充当計

画は。総務課長 今後も観光施設に充当したい。

風間 入湯税の引き下げの考えは。**町長** 天狗の館入場者は6割が町外の方である。サービスの向上でご理解いただきたい。

風間 指定管理者が行う施設修繕費の負担見直しの考えは。**町長** 施設管理は、修繕の発注をする町が負担。利益が出た時の一部を納付していただくことで対応。

日向野球場出発のウォーキングコースを

風間 当該道路は草刈りがきれいに行われ、整備されている。「自然の中の暮らし魅力創造発信事業」に入浴、澄み切った空気を体



▲紅葉を楽しみながらウォーキング

に一杯浴び、多くの野鳥の声を聴きながらウォーキング。起伏の少ない下りの多いコースで年3回の企画とし、芋川日向野球場を出発地点とし、ゴールは旧三水第二小学校。赤塩地区の活性化につながると考えるが。**産業観光課長** 非常に重要と考える。観光協会と相談しながら考えたい。

骨髄バンク

ドナー登録者数を増やす努力を

町長制度等、PRを徹底していく

原田 町の血液のがんの患者数及び過去に造血幹細胞移植された人数、また、ドナー登録数は。

保健福祉課長 血管のがん患者数、過去に造血幹細胞移植された人数は、把握ができない。町のドナー登録者数は、3月31日の時点で33名。昨年は29名で、登録者数が若干増えている。

原田 ドナー登録の普及啓発について町の今後の方針は。また、がん教育の推進では、教職員の研修や教育カリキュラムでの取り扱い



原田 幸長議員

は。

保健福祉課長 ドナー登録の普及啓発は一番大事で、町の施設においてリーフレット・パンフレットの設置、またホームページの記載、そこから骨髄バンクの協会へリンクする仕組みも構築した。次年度から成人式にリーフレットを用いて啓発普及に取り組む。

教育次長 県の教職員研修会のなかでも、がん教育を行っている。教育カリキュラムとしては、中学3年生の保健体育の中で生活習慣病の予防のひとつとしてがん教育をされている。小学6年生は毎年、がん教育を行っている。保護者については、家庭教育学級のなかでがん教育の研修を行う。

原田 骨髄移植の普及啓発について今後の町の方針は。

保健福祉課長 経験者の話

を取り入れて今後は考えていく。善意による登録なので、PRの必要性、重要性を考え行っていく。

原田 町でもぜひドナー登録者数を増やす努力をしていただきたいが見解は。

町長 ドナー登録をどのくらい理解をし、登録していただけるかが大基本。自治体はそういう判断をしていただくための材料の提供、PR等々、制度の充実、これを十分にやっていくことが必要。あらゆる機会に制

度等PRを徹底していく。

ワクチン再接種への助成は

原田 県では20歳未満のワクチン再接種が必要な方への助成を実施する市町村に対し、その一部を補助するとの新聞発表があったが、町の取組みは。

保健福祉課長 骨髄移植後のワクチンの再接種の助成については、本議会において補正予算の計上をしていく。10万円を歳出で、歳入は4万5000円で計上しており、議決後速やかに実施していく。

風疹対策の強化を

原田 免疫の有無を調べる抗体検査や、予防接種を原則無料化したことは、公明党の訴えで実現したものだ対象者に、市区町村から無料受診券の送付が始まっている。町の状況は。

町長



▲厚生労働省 ポスターより

保健福祉課長 風疹の追加的対策における通知、クーポン券は5月24日に発送を行っている。対象者は、昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性で、該当者は495名。転入者については逐次確認し3名追加で通知。

原田 この世代の方々は、働き盛りで、なかなか日中に抗体検査や予防接種のために病院に行くことは大変で、この対応がカギになってくるがいかがか。

保健福祉課長 町では対象男性の特定検診時において抗体検査を実施している。全国どこでも抗体検査や予防接種が可能で、町外の病院であっても県外であっても、クーポン券で受診が可能である。

ICT教育推進と 「生きる力」の育みを



石川 信雄議員

町長 人間性豊かでグローバルに活躍する人に

一般質問

ICT教育等の現状は

石川 31年度の小学校、中学校における電子黒板、タブレットの普及率は。

教育次長 牟礼小学校はタブレットが12台、電子黒板は2台。三水小学校はタブレット12台、電子黒板は1台。中学校についてはタブレット22台、電子黒板1台。普及率については小学校で各クラス1台、中学校では1から2台。

石川 タブレットは班で1台、概ねクラスで4台程度。電子黒板は学年で1台は必要と思うが。

教育長 充分足りているとは言えないので、今後、計画的に増やしていきたい。

石川 指導教員の研修はされているか。

教育次長 29年度導入時は全職員で研修をしている。現在は精通している職員が他の職員を指導するなどして取り組んでいる。

石川 学校パソコン等更新事業の債務負担行為の31年度の内容は。

教育次長 パソコン、タブレット等のリース料である。

石川 犯罪巻き込まれ防止やネット依存防止のためのSNSなどについての校内講習の状況は。

教育次長 家庭教育学級で専門講師を招いて研修している。3月の体験入学時も保護者も一緒になって受けている。また、校長講話でも取り上げている。中学校では新1年生を対象に校内研修をしている。ネットに関するアンケートも行い、相談にも応じている。

教育長 非常に大事なことで、町では子育て支援や保育園での段階から学習会などを開いている。

「生きる力」を育てる 具体的な取組は

石川 道徳などについてはどうなっているか。

教育長 すべての教科でそうであるが文科省では覚えこみ学習から課題解決学習にシフトしてきている。考える力を身につけるようになってきている。コミュニケーションティースクールの取組では、地域の方々に学ぶ体験学習を通して町への愛着心を育

ている。

教育次長 中学校では半数以上の生徒が部活動をしている。他校と合同でする部もあり、交流を通して「生きる力」を育んでいる。

石川 イエナ教育も参考にしている。

教育長 勿論、他の事例も含め良いところは取り入れたいが、現在、飯綱町の教育はよくやっている。



▲課外授業 2016

北部高校との

連携推進を

石川 包括連携協定締結後の進捗は。

教育次長 3月28日に締結した。その後は同窓会がリング農業支援のためのクラウドファンディングを達成した経緯や、修学旅行では町のPRをするなどしていただくなどの話がある。また、リング農家になりたい生徒の募集をしたい旨もあるようだ。

町長 地元の飯綱町、信濃町出身の生徒は3割程度。ならば5割まで増やしたい。地元ならではの魅力ある学校づくりに協力したい。リング農家志願の生徒さんには卒業後も町として創業まで支援できるような仕組みを整えたい。

石川 町長に改めて何うが、飯綱町の教育をどうしていきたいか。

町長 基本的には教育委員会の理念を行政の立場から支援する。ICTやAIの発達も目覚ましいものがあるが、やはり、人間中心の喜びや悲しみも共有できるような人間性を育む教育が大事であると考える。また、グローバルに活躍できるような人間に育ってほしい。

町は、どいつしても

黒川に住宅を新築したいのか

町長 人口増加策には必要と考える

目須田 副町長は昨年12月の私の質問に「定期的な課長会議や各課長からの報告を受け、職員の仕事については把握している」と。町長も昨日「職員の仕事量は把握している」と答弁。では各課長からの報告の中で職員の月の平均残業時間と年間残業時間の合計をアウトで結構なので頭の中のデータの提示を。

副町長 正確な数字は持ち合わせていない。

目須田 町長に伺う。

『補助金を受け、これをい



目須田 修議員

かに使うかをパソコンに向かつて考えているだけに見える」と住民に受けとられている。職員も含めて、予算を使うことが仕事と考えているようでは、自立する自治体は望めないと考える。155億円余の借金の自治体であることの認識はあるか。

町長 福井団地はすばらしい団地であり、空いている土地も含めて重要で必要である。若者の移住も考えている。

新築の前に 空き家対策が先では

目須田 移住者増加策として「若者住宅をつくること

目須田 町長が黒川・原田地区に予定し進めている若者住宅は、住民の要望の上位なのか。福井団地等の空き家対策をなぜ、優先しないのか。福井団地の方がはるかにメリットが多い。黒川・原田地区で、しかも、新築に何故こだわるのか。

で人口増加につなげたい」と答弁しているが、黒川・原田地区は購入時にも問題となっていた土地。新築住宅への入居者は町外からの移転とは限らないし、また若者が入居するとも限らな

い。福井団地等の空き家対策を考えれば必然的に新築はその後になると思うが。

もらったり、買い取り等で町の物にしていく方向で考えている。住民の知恵と協力を得て、私のスタイルとしてこの考えを進めていきたい。

ソーラーパネルを どう捉えているか

目須田 日本一のリんごの町を目指し、農業を基幹産業としている町として、耕作放棄地を減らす施策は、耕作放棄地にソーラーパネルの設置が増えているのはご存知のとおり。耕作放棄地とソーラーパネル設置をどう捉えているか。

住民環境課長 自然環境保護条例で対応していく。10kw以上が対象になる。農地法にかからない物件については設置が可能となる。

そこで環境条例をつくらうとなったが、産業観光課としてはどう捉えているか。

産業観光課長 農地の耕作放棄地への設置は農業委員会が農地法により、設置予定の申告を受け検討し、許可を行う。

目須田 工事中のモノは農業委員会が許可したと考えるといいのか。

産業観光課長 農地に設置してあるのは、自然環境条例等、条件をクリアしたうえで設置されている。

目須田 町長は「個人の土地をどう利用するかは地主の自由で口は出せない」と答弁。



▲「ソーラーパネルとりんごの町」か!?!、という問題提起



渡邊 千賀雄議員

駅前整備に伴う活性化策は

町長「駅前周辺活性化懇談会」を開きたい



▲整備が完成した牟礼駅前ロータリー

渡邊 行政、運行

たい。区長等をお願いしたい。

町長 「駅前周辺活性化懇談会」を開き、考えや知恵を協力してもらい、町づくりの推進を。

町長 「駅前周辺活性化懇談会」を区長等をお願いしたい。

町長 駅を下りて買い物するところがない。駅前再整備を考えたい。

町長 駅を下りて買い物するところがない。駅前再整備を考えたい。

町長 駅を下りて買い物するところがない。駅前再整備を考えたい。

町長 駅を下りて買い物するところがない。駅前再整備を考えたい。

渡邊 行政、運行

たい。区長等をお願いしたい。

町長 「駅前周辺活性化懇談会」を開き、考えや知恵を協力してもらい、町づくりの推進を。

町長 「駅前周辺活性化懇談会」を区長等をお願いしたい。

町長 駅を下りて買い物するところがない。駅前再整備を考えたい。

町長 駅を下りて買い物するところがない。駅前再整備を考えたい。

町長 駅を下りて買い物するところがない。駅前再整備を考えたい。

町長 駅を下りて買い物するところがない。駅前再整備を考えたい。

牟礼駅前整備に伴い、今後の課題への対応は
渡邊 町は「飯綱町地域公共交通計画」を作成した。公共交通による住民、観光客の移動は重要だ。駅を中心とした活性化策① 「駅発・着」の交通網の拡充を進めることは。
企画課長 バスは深沢電営業所発着だが実質的には駅中心に運行している。

渡邊 活性化策② 町の玄関口として「観光案内所」の営業充実を進め、発信し、駅利用の外国人・インバウンド対応（接遇対話、案内等）は万全か。
町長 体制を整えていかねばならない。
渡邊 活性化策③ 駅周辺での、店舗



▲上り下りが大変な跨線橋



▲車イスが通れない改札口

一般質問

事業者、関係機関、業者等において、定期的に協議の場を設けて改善を図ることが重要と考える。

役場庁舎、公共施設の弱者対策をしっかりと

渡邊 町は、年齢、性別、経済力、障害の有無などに関係なく住み慣れた地域社会で、だれもが心こころ豊かに安心して暮らすことができる地域共生社会を築くとしていく。公共施設の弱者対策・高齢者・障害者に利用しやすい構造に配慮すべきと思うが、改築する役場庁舎等の対策は万全か。

総務課長 実施設計で進めている。

渡邊 既存の公共施設の総点検を進め改善を図れ。

①牟礼駅の改札口は「車イス」が通れない。

②「こ線橋」の上り下りが大変。

③列車とプラットホームの段差などへの苦情が寄せられる。対応は。

町長 ①乗れないようでは困る。改良を望む。

②エレベーターは無理。上下同じホームを使うなどを検討。

③段差解消は2年後以降との、しなの鉄道の回答。

子どももの貧困対策をどう進める 教育次長 実効性ある計画で実施する



清水 均議員

清水 子どもの貧困状況を把握しているか。
町長 正確な数字は持っていませんが、生活保護世帯、要保護世帯、母子・父子家庭、児童扶養手当をもらっている世帯は把握している。
清水 *相対的貧困の実態は、疾病の慢性化・重病化、学業の中断、学力低下、ネグレクト(育児放棄)、身体的・心理的虐待、DV、孤食など、広く捉える必要があると考えるが。
町長 子ども子育て未来室に一本化している。福祉、

医療、学校との連携をとる中で対応し、横の連携も整いつつある。
清水 「子どもの権利に関する条例」を策定する必要はある。
町長 条例はないが子どもの権利を守り、将来を思い、飯綱町の宝だという位置付けで事業を実施している。条例の研究もしていく。
清水 子どもの貧困対策推進法が改正され、市町村でも「子ども貧困対策計画」の策定が努力義務となった。外部委託とはせず、町独自で計画策定は可能か。
教育次長 実効性のある計画にしなければならぬ。町が主体となって策定していく。
(※相対的貧困とは、主に生命維持のために最低限必要な衣食住が足りていない状態)



▲面白自転車であそぶ子どもたち

いじめ、ひきこもりなどの不登校の実態と対策は
清水 小・中学校の不登校の実態とその要因分析と支援体制は。
教育長 傘礼小なし、三水小1名、飯中7名で、いずれも貧困ではない。
児童・生徒へのきめ細かな個別の支援、事前の予防対策等に力を入れている。

清水 不登校対策の一助として、信州大学教育学部などの学生の力を借りて「家庭訪問支援員」を配置してはどうか。
教育長 信大県立大の学生を教育現場の中に呼ぶことを考え実施もしている。
30年度決算を問う
清水 地方創生で県外、県内、町内の発注総額と率は。企画課長 総額4億5200万円。率は、県外20%、県内49%、町内31%である。
新規就農者住宅の状況は
清水 現在2軒空いているが入居の見通しは
産業観光課長 農業体験にみえたが住宅の希望がない。入居資格を緩和し入居者を募集する。



▲利用を進めてほしい新規就農住宅(野村上)

ゲートボール場 管理運営は
町長 ほとんどを個人の土地を借用、管理は老人クラブまたは区。管理の行き届いていない所は、廃止または整理していきたい。現在8地区で使用している。
町営住宅への町有林木材の利用状況は
町長 町産でなくても、県産材を使うなどしていきたい。三本松直売所、子育て支援センターに町産を多く使いたい。

住民協働で学用品リユースの 実施を



瀧野 良枝議員

教育次長

重要な事業であり、実施を検討する



▲赤ちゃん訪問 地域での温かい見守り体制を

産前産後ケア 地域力の活用を

瀧野 妊産婦の孤立感解消のため、地域人材の活用を。
保健福祉課長 民生児童委員、地区の民生委員と保健師で赤ちゃん訪問を実施。継続して見守りたいという意見もあり、活動を広めた。

瀧野 予防的視点からの保健師の継続的支援を。
教育次長 健康管理センター、子育て支援センター、保育園等で観察しながら、問題点を見逃さないように努めている。

一般質問

子育てと仕事の両立 町職員から

瀧野 働き方改革モデルはサンクゼールさんでの取組のみ。横展開に苦労しているようだが、町職員の取組状況は。

総務課長 超過勤務縮減への意識啓発は毎週の課長会議で周知徹底。

瀧野 管理者層の意識の高さが大きく影響するが、そのレベルは高いか。

町長 十分深い理解をしていると思う。

児童虐待 予防教育を

瀧野 子どものSOSの出し方、周りの大人がサインを受け止める感度を高める学習の両面がカバーできる「CAPPプログラム」の導入を。

教育次長 非常に必要な事であるので、学校と相談しながら導入が可能か、検討をしていく。

環境意識向上 子ども世代から

瀧野 子ども用品は利用期間が短く、状態の良いものが多い。環境意識向上と経済的負担軽減のため、住民協働による学用品リユースの実施を。

(※リユース：再利用)

教育次長 重要な事業と考え、校長教頭会で実施を検討。社協との連携も模索しながら進めていく。

瀧野 安価なおもちゃが容易に手に入る昨今、物を大切にするという意味で、おもちゃ病院の開設と、世代間交流を目的としたシニア世代へのおもちゃドクター養成講座の開催を。



▲小学校1・2年生しか使わない「算数セット」

保健福祉課長 技能取得等の費用や人材発掘が難しいが、社協と相談しながら話を詰めていく。

スポーツを 核とした 観光まちづくりを

瀧野 日本初のノルディックウォーキング HALFマラソンW杯が開催される。経済的効果や社会的効果をどう考えるか。

町長 宿泊客も一定の見込みがあり、町外の参加者による町のPRにも繋がる。今後も大切に育てたい大会。

瀧野 町民運動会と同日開催で、町内への浸透度も低い。受入体制は万全か。

産業観光課長 ボランティアの皆さんや、北部高校生の協力等で進めている。

瀧野 行政や民間企業等でスポーツコミッションを組織し、資源を有効活用した横断的な取組を。

町長 今後の町の良い発展策として真剣に取り組んでいきたい。

水道事業の今後は

町長「第三者入れた」 研究委員会で検討したい

伊藤 三水浄水場、配水地などの老朽化への対応について、町民生活の現状に合ったものにするための検討をし、早急に具体化すべきではないか。

町長 三水浄水場は、新たな水源を見つけるか、牟礼と合体するかなど、どんな方法があるか。水源だけで10億円はかかるか。

配水池・管路の設置替は、古いところからやり替えているが、すべてとなれば5億円はかかるだろう。

整備計画を示すときは、



伊藤 まゆみ議員

財源の示すことになる。料金そのままですべて町が負担できれば良いが、難しい問題で、どうしても料金に反映してくると思われる。第三者を入れた研究委員会で検討したい。

伊藤 水道の圧が低くて日常生活に支障をきたしているとの相談があった。そのような世帯がどれほどあるのか調査する考えはあるか。
建設水道課長 平成25、26年度に消火栓の水圧調査を実施し、地域的な現状は把握している。水圧の基準値は下回らなかった。



▲安定した水の供給の要の配水池

地域的な要因など確認したい。
伊藤 同じ料金を支払っていない。不公平ではないか。救済措置を講じる考えはあるか。
町長 対応できることは、具体的に検討したい。

後期高齢者 医療の保険料 町独自の助成を

伊藤 後期高齢者医療は、75歳以上の方を対象にした医療制度で、平成30年度行政報告書での被保険者は、2186人。2年ごとに保険料を見直し、そのたびに引き上げられてきた。前回から特例措置が順次解消されて、この10月にも見直される。

9割軽減であった方の保険料は何倍になるのか。

住民環境課長 8月7日時点での対象者は、341人。保険料は、年額4090円が8181円になる。

伊藤 この間の自民公明政権の施策は、年を重ねることを素直に喜べないものとなっている。老後の貯金2000万円必要の問題は、政治への不信と怒りの種もまいたのではないか。高齢になると病気やケガが避け



▲元気で長生きをめざしゲートボールの練習

ては通れないものとなり、おり、年金に頼らざるを得ない方々には、大きな負担となっている。

町として、ぜひ助成に取り組んでほしい。

町長 10年で平等割が5000円上がった。支援を始めれば途中でやめるわけにはいかない。支援はしたいが、簡単に返事できない。支援の仕方にもよるが、内部的に検討したい。

議会だより第55号(6月定例会)

モニターアンケートにお答えします

Q 憲法関係、消費税増税の有無、町議会で議論する項目か疑問に思う。各議会の立場で託された議論をお願いしたい。

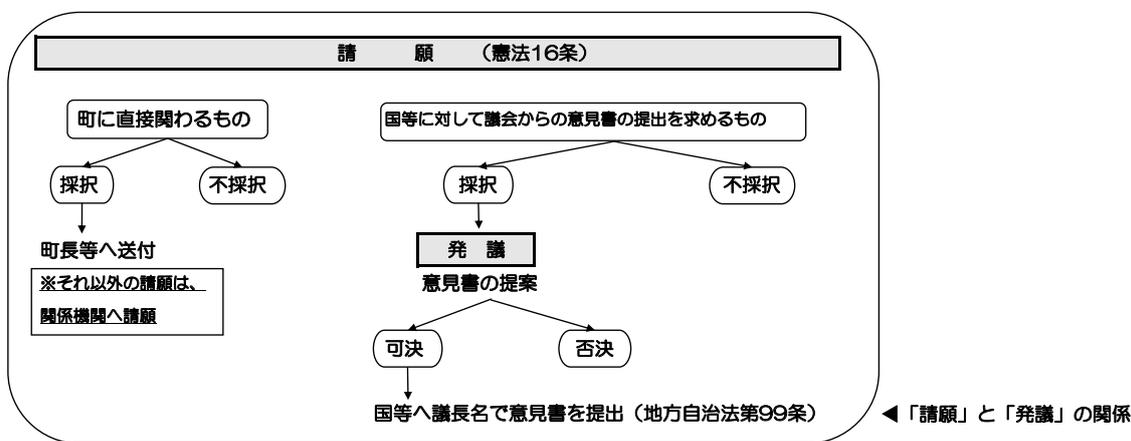
A 請願は憲法第16条で保障された国民の権利であり、対象となる事項は、憲法で明定されています。請願者は、飯綱町や町教育委員会に限らず、国などの執行機関や国会などに対しても請願することができます。また、議会に意見書の提出を求める請願も認められています。ご質問はこれに当たります。この場合、請願の内容が、広く社会一般の福祉と利益に関連があり、かつ、住民の関心が高いものについて、公益に関する事柄として認められる限り、その請願を採択し、その主旨の実現を図るため、意見書を議決して、議長名で国会又は関係行政庁に提出すべきと判断しています。

【請願関係】

Q 第55号の4ページ「6月定例会議案に対する各議員の賛否結果」において、「請願」と「発議」の意見書との違いが分からない。(原文を一部整理しています)

A 地方自治法第99条において、地方公共団体の公益に関する事件につき、意見書を国会又は関係省庁に提出できるとされています。町民等の皆さんが議会に対して町民の生活に関係のある事柄について、議長名で国等に意見書を提出する請願をすることができます。この場合、議会は、まず請願の内容について審議し、議決します。前述の「賛否結果」の表では「請願」と表しています。

次に、請願が採択された場合、議員発議で請願の内容に基づいた意見書を議会に提案し、議決が行われます。この手続きを前述の「賛否結果」の表では「発議」と表しています。採択された意見書は議長名で対象となる提出先(国会等)に送付します。



【知らない人のための記事作りを】

Q 多世代交流施設の具体的な内容や活用について、議員の皆さんは分かっているとしても一般住民は知らない人がほとんどだと思います。(同様の質問が多くモニターからありました。)

A 普光寺深沢地区に現在建設中です。子供たちが遊び、その傍らで親御さんは情報交換ができる場所、中高生はバスなど送迎の待ち時間を過ごせる場所、高齢者の健康増進のための機能を整備するとともに福祉関係の事業所が相談者などに寄り添う場所、ミニホールでは多世代が楽しめるイベントの開催、そしてカフェやテナントなどのスペースもある多機能型の施設として、みんなで使う、賑わいとコミュニティを生む施設を目指しています。完成は本年12月中を予定しています。

なお、町広報誌「いづな通信」2018年4月号、2019年7月号に掲載されていますので、ご覧ください。

モニターアンケート

町民が求める必要な施策の実施を! 町長に予算・政策要望書を提出

令和元年10月21日、議会は、正副議長、2常任委員長が次年度に対する予算・政策要望書（6テーマ・66項目）を町長に提出した。

町民が求める必要な施策の実施を求め、各地区での懇談会や議会報モニターの皆様からのご意見や要望なども含め、各常任委員会で検討後、議員全員協議会で確認し、令和2年度予算・政策要望書を提出した。

要望の区否

町長は、「日本一のりんごの町」、「日本一女性が住みたくなる町」を掲げ、集落機能の維持、地域交通、



予算・政策要望

医療、産業振興、子育て支援、庁舎建設などの課題に取り組んでおり、スキー場の完全民営化など合併来の懸案事項を確実に遂行している。一方、町は合併後14年が過ぎ、合併特例措置の減額・縮小が始まった。将来にわたって持続可能な行財政運営を図るため、自主財源の確保とともに限られた財源を効率的に活用し、これまで以上に行財政改革に取り組み、健全な財政運営が求められる。町議会は、令和2年度予算編成に当たり、前例にとらわれず、ゼロベース、スクラップアンドビルドの手法を使い、必要な事業であるかを再検証し、効率的で時代に即した予算編成を求めるとともに、町民が求める施策の実行のため、次のとおり要望する。

重点項目

①「自治基本条例」の制定を

少子高齢化時代にふさわしい住民自治を発展させるため「飯綱町自治基本条例」を制定すること。

②「子ども条例」の制定を
町は「子ども条例」を制定し、子育て・教育に関する万理の理念と基本政策を確立すること。

③新しいコミュニティの仕組づくりを推進すること
集落機能、地域活力の低下が進む中で、集落創生を着実に進めるとともに、町として、課題別、地域別に集落連携を進め、新しいコミュニティの仕組みづくりを推進すること。

④自治体間連携の研究、検討を進めること
人口減少が進む中で、コストを抑えながら住民サービスを維持できるよう、病院事業、水道事業、公共交通事業等について、さらに自治体間連携の研究、検討を進めること。

⑤公共施設の管理・運営方針の確立を
町の公共施設の今後の活用、管理・運営等について方針を確立すること。
(具体的な予算・政策要望の内容は、町ホームページをご覧ください。詳しくは、町議会事務局にお問い合わせください。)

第5回 町村議会改革シンポジウム長野inみやだ

基調講演

今後の町村議会のあり方

講師 広瀬和彦氏

地方議会総合研究所代表

町村議会の現状と課題

①議員数の推移

地方分権一括法施行前の議員数は、平成10年4万559人に対して平成30年は1万8930人に減少(46・7%)。

②無投票当選者の割合

昭和30年は12・0%だったが平成31年には23・3%まで上昇。

人口	無投票当選者割合
1,000人未満	64.7%
1,000～10,000人未満	27.3%
10,000～30,000人未満	17.1%
30,000～100,000人	9.0%



▲会場内の状況



▲グループ懇談会

③職業の割合

農業29%、専業23%、建設業7%、小売業6%の順であった。

④小規模市町村における議員のなり手不足

⑤議員年齢

60歳以上が約8割(議員報酬が低額のため、年金受給者でないと難しい)。

⑥町村議会の政務活動費

交付している 20・4%
交付していない 79・6%

今後の町村議会として改正を求める事項

①選挙運動のビラ助成

②ICT化等

情報交換

グループごとに分かれて、お互いの議会の取組の現状と課題について。

今後の町村議会の方向性

月刊「ガバナンス」編集長 千葉茂明氏

グループ長の意見を元に、これからの方向性を検討。

学ぶ議会

令和元年度前期 政務活動費報告(4月から9月)

(単位:円)

	支給金額	内訳			摘要
		会議研修費	広報広聴費	資料購入費	
清水 均	117,657	98,933	12,334	6,390	研修参加、議会報告印刷、書籍購入
瀧野 良枝	59,253	41,160		18,093	研修参加、書籍購入
原田 幸長	60,000		60,000		議会報告印刷
伊藤 まゆみ	37,724		27,764	9,960	議会報告印刷、新聞折込、書籍購入
青山 弘	32,910		32,910		議会報告印刷、新聞折込
樋口 功	51,840		51,840		議会報告印刷
渡邊 千賀男	29,702		27,758	1,944	議会報告印刷、新聞折込、書籍購入

※ 詳細は、町ホームページまたは議会事務局でご覧いただけます。



先進地に学ぶ

最先端農業機械技術 地域共生社会・山村留学 視察

池谷集落の再生

「新潟県十日町池谷集落」は過去40年間に人口激減の果て村治めを覚悟した集落が、内部の人と外部の人の「集落の灯を絶やさない」という目線により復興し、100年続く集落を目指す地域づくりの取組を行っている。

1. 集落の経緯と現状

昭和35年当時37世帯200人を超すが、40年間で8世帯に、さらに平成16年の中越地震により6世帯13人になり村治めを覚悟した。

2. 奇跡の集落の復興

集落の人と外部の人の力が重なり合って化学変化が起き、「災害ボラティア」や「地域おこし協力隊」が同じ目線により地域の未来図を描いた。

その中核組織が地域おこしとして米の販売、農産物加工、交流や定住支援、後継者育成を通じ100年続く集落を目指す。

集落の一角で、棚田の米をブランド米「山清水米」とし、宝の田園にした。

未来農業機械を視察

農業就業人口の減少が見込まれる中で、農業を町の基幹的産業として位置付けるためには、補完手段として、スマート農業の推進と、生産基



▲無人トラクター実証実験視察

盤の条件が不可欠となる。

農業機械の推進（AI）の現状及び将来を目指し夢ある農業のために未来農業、無人自動トラクター、田植え機、コンバイン、玉ねぎ植え・堀機、畝創り等を視察する。

地域共生社会実現の取組

伊那市福祉相談課は、地域共



▲池谷集落 多田先生による講義



▲「我が事 丸ごと」の実践へ(伊那市役所)

生社会の実現に取組んでいる。地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指す。本年4月から福祉課の組織体制を見直し、相談・支援の窓口を一本化し地域づくりの推進をしている。福祉活動の拠点として新しく福祉まちづくりセンターを設置し社協と一体になった支援を行う。

下條村認知症保険制度

地域の見守り体制整備のため、高齢者等見守りネットワーク事業を立ち上げる。行方不明時の早期発見情報として、認知症もしくは疑いのある方対象に事前登録をする。手続きには介護保険被保険者証か障害者手帳又は医療機関の診断結果等の資料が必要。同時に、村が契約者となり認知症専用保険に加入できる。年間保険料1万3800円。村が半額6900円負担をする。県内初の導入である。

暮らしの学校

だいだらぼっち

NPO法人グリーンウツド自然体験教育センターを視察研修した。ここでは村外から小4、中3の児童生徒を受け入れ、共同生活での自律した生活から暮らしの原点を探り、また実体験を通して修得していくことで、自ら考え生きていくための価値観を育てている。地域コミュニティにも溶け込んだ運営は村にとっても活性化要因にもなっていて、教育が開く可能性を感じ入る研修であった。



▲子どもたちが1年を過ごすだいだらぼっち(泰阜村)

議会だよりモニターとの意見交換会

学ぶ議会

8月24日、町民会館元気の館において、議会だよりモニターの皆様との意見交換会を開催しました。

以下、出された主な意見をご紹介します。

議会としての役割を

果たすために

- 投票率を上げるための継続的な努力を
- 政治に関心を持ってもらえる仕組みづくりを(学校教育の場面など)
- 各議員が議会報告等を地元配つてくれれば、身近に感じやすいのでは

町への要望

- 国道、県道の路肩の草刈り等、維持管理の徹底を県へ要望してほしい
- 道路補修は20、30年持つような整備を
- 職員による道路パトロールの徹底を
- 一級河川の川底のしゅんせつなどの整備を
- 休耕地対策、鳥獣害対策、家族農業支援の充実を

読んでもらえる

議会報づくりを

- クイズやクロスワードコーナーを入れれば読む人が増えるのではないかと

その他のご意見

- 人口減、若者転出に対する施策の充実を
- 公道について、町へ整備を依頼することも必要だが、町民の力でできることは自分でするなども考えるべきではないかと



新しい町づくりへ 私の提案

第16回

自然をいかして 楽しい時間を



宮本 有彩さん
(年礼小6年)

私は飯綱町にあるいろいろな木を使って、自然とふれあえる場所や本が読める場所をつくれればよいと思います。

ツリークライミングなどができれば、子どもはもちろん大人も楽しめ、親子で自然とふれあったりできます。

また、ログハウスの図書館を造り、本を読んだり借りられるようにすれば、親子で読書ができたり、一人でも読書ができたりします。

このように、外でも屋内でも、大人から子どもまで自然と遊んだり、リラックスタイムしたりして、楽しい休日が過ごせるようになると思います。

町内の木を使うので、町の自然をいかすこともできて、いろいろな人もふれあうことができ、新しい町づくりへの一歩になるのではないかと思います。

「退職後は飯綱町へ」というのもいかがでしょうか

玉木 瑠美子さん(川上)

移住から2年半経ちました。飯綱町が大好きです。

社協のあらゆる企画に感謝して参加しています。いろいろな大学にも参加し、地域が少し分かってきて、ますます飯綱町が大好きになりました。

ただし、生活していて、暮らしにくいことも感じています。

アイバスは最終便が早く、講座に出席していても途中で退席しなければならなかったり、土日の町企画の講演会があっても参加できません。星空観望会もぜひ行ってみたいのですが、交通手段がありません。社協の講座もとても手厚い対応で感謝していますが、参加者が少なく勿体ないと感じています。わらび会については、今後多くなる高齢者の食事だけでなく、元気な高齢者のための何かを考えたいらひかがでしょうか。

他県出身だからこそ、飯綱町の良さも他の人より感じます。女性の住みたくなる町もいいですが、「退職後は飯綱町へ」というのもいかがでしょうか。

いざという時の ボランティアは…



寺島 恵子さん
(古町)

私は長野オリンピックからボランティアに参加するようになり、以来様々な活動に関わることができました。

そこには多くの出会いがあり、人と人とのつながりができ、共感できる仲間づくりへと発展してきました。

高齢期を豊かに過ごすには4つの目標が大切。1つは生活の資金、2つ目は健康で、後は生きがいと仲間づくりで、この4つの壁をクリアできたら悔いのない生涯を全うできそうです。

災害ボランティアも日頃のスポーツや文化活動から生まれる人の和(輪)があつてこそ大きな組織力となり得ます。私にできることは、自ら行動を起こすことで喜びと感謝が生まれ、地域も人も自分も元気になる優れもの、お勧めしたいものです。

町の伝統・文化

高坂区内の

石仏70体

区内の道端、山の中といったところに石仏70余体が安置されています。

先祖が残してくれた真意は知る由もないのですが、いつも身近で見られることは嬉しいことであり、誇りにさえ感じられます。

確認できている最古のものは、寛文12(1672)年の墓塔(塔型)がありま

すので、ご覧にお出かけください。

石仏を大別すると、馬頭観音15、六地藏6、地藏菩薩2、如意輪観音2、万霊塔1、庚申塔3、道祖神1、諸神祠1、石祠1、石神1、十王像1、記念碑3、石標2、道標2、墓塔2、念仏塔1、等ですが、他にも10数体あります。



▲馬頭観音「右は戸隠、左は善光寺」



▲珍しい石仏「見ざる 聞かざる 言わざる」

56号表紙説明

毎年恒例の福井団地夏祭り。今年も400人以上の参加により、福井団地の手作り屋台、出し物、花火等で賑わいました。



議会だよりモニター

生の声

⑰

モニターとの意見交換会に参加して



原 孝宏さん (倉井)

8月に議会だよりモニターと議会の皆様との意見交換会が開催されました。当日は、会場の机が少なかつたので急な場所の変更があつたと思ひ、事務局に確認をしてしまいました。

議会や町政に対する意見や質問を発言することができて、それに対し具体的に説明をいただき有意義な意見交換会でした。ただもっと多くのモニターの方の声を聞きたかつたので、何が原因で出席者が少なかつたかを事務局で調査し、次回の開催に役立ててほしいと思ひます。



12月定例会予定

12月2日～18日(17日間)

一般質問

4日(水)・5日(木)

常任委員会

9日(月)・10日(火)

編集後記

9月決算議会が無事終了しましたが、10月に入り今季最大級の台風19号が上陸し、全国各地、特に千曲川沿線で大きな被害が出ました。我町は被害が思った程少なく安堵しております。

町民の皆様に分かりやすい議会報作りに努力してきましたが、意向に沿わない部分も多々ありました。今後、新委員に託します。有難うございました。(清水 均)

編集委員

発行人	清水 満
委員長	清水 均
副委員長	瀧野 良枝
委員	風間 行男
委員	伊藤 まゆみ
委員	青山 弘
委員	樋口 功